

令和 8 年 3 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

## 令和8年3月 定例飯舘村教育委員会会議録

- 1 招集日時 令和8年3月23日(月)午後3時00分
- 2 招集場所 飯舘村役場 第1会議室
- 3 出席委員  
教育長 高橋 澄子  
教育委員(教育長職務代理者) 高橋 祐一  
教育委員 庄司 智美  
教育委員 高橋 世津子  
教育委員 佐藤 修治
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者 教育課長 三瓶 真  
指導主事 三品 勝彦  
生涯学習課長 山田 敬行
- 6 開 会 午後3時00分
- 7 日程第1 教育長あいさつ  
教育長 教育委員の皆様、改めまして、こんにちは。  
年度末のお忙しい中、3月定例教育委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
前回の定例教育委員会は2月26日でしたが、会の終了後総合教育会議もあり長丁場となりました。本当にお疲れさまでした。その会で、たくさんの宿題を頂いたのですが、まだ完全に宿題を終えておらず、後ほどご意見を頂戴したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。  
さて、教育委員の皆様には、3月13日のいいたて希望の里学園の卒業証書授与式、18日のまでいの里のこども園の卒園式と立て続けにご臨席を賜りましたことに重ねて御礼を申し上げます。  
今年度は、9年生11名が義務教育を終えて巣立っていきました。続いて、18日のまでいの里のこども園の卒園式では、11名が修了証書を園長先生から授与されました。11名のうち10名がいいたて希望の里学園に入学予定です。卒業式、卒園式、そして本日は学園の修了式が行われ、飯舘村では特色ある園、学校経営がなされて、無事7年度終えることができそうです。改めて、委員の皆様のご指導、ご助言に感謝申し上げます。ありがとうございました。  
それでは、本日は令和8年度の教職員人事異動についてのご承認をいただくこととなります。辞令交付、公表は、明日午前8時30分以降となっておりますので、資料の取扱いについては十分ご注意をお願いいたします。

次に、村の人事についてですが、こども園の園長を伊藤副校長先生に兼務でお願いしておりましたが、来年度は学園にいらっしゃる増田校長先生に兼務をお願いする予定になっております。

教育委員会関係での主な異動ですが、生涯学習課長の山田敬行課長が、会計管理者兼住民課長に戻られる形になります。3年間本当にありがとうございました。後任は、現在会計管理者兼住民課長の荒真一郎課長となります。また、学校の施設関係やスクールバス関係を一手に引き受けて仕事をしていた高野琢子学校教育係長ですが、このたび健康福祉課主任主査兼福祉係長となり、後任は総務課小林徳弘総務係主査が昇格してまいります。

足早にお話をさせていただきましたが、あと9日ほどで令和7年度が終わります。本当に1年間お世話になりました。

それでは、本日の議事日程につきまして、慎重な審議をお願い申し上げまして挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

8 日程第2 会期の決定及び書記の指名

教育課長 令和8年3月23日1日間とする。書記に教育課長を指名する。

全 員 異議なし。

9 日程第3 令和8年2月定例教育委員会会議録の承認について

事務局 (資料に基づき説明)

教育長 ただいま事務局より、令和8年2月定例教育委員会の会議録について説明がありました。

私から1つだけ訂正をお願いします(6ページいいたて学発表の学年を1～4年生を3・4年生に訂正)。

いいたて学の発表会では、私が見学させていただきまして、3年生がC o c i t t oさんとか食べ物屋さんを見学して、自分たちでレシピを作ったというような発表でした。凍み餅やベーグルのレシピを子供たちが考案して、それを発表していました。そのレシピをどこかに飾りましょう、飾ってほしいですといったお話があり、ふれ愛館のほうにラミネート加工で飾ってもらったらどうだろうねということが、最後まとめられました。

また、4年生に関しては、飯舘村の産業について学習をした内容でした。4年生はとても発表が上手で、最後全員が「飯舘村大好き」と絶叫して終わったんですね。子供たちが飯舘村大好きと言ってくれた言葉がすごく心に響きまして、とても感動いたしました。とてもいい発表会でした。付け加えさせていただきます。

どうでしょう、ご質問、ご意見はございませんか。では、ご質問、ご意見がないようですので、日程第3の令和8年2月定例教育委員会の会議録については、ご承認ということでよろしいでしょうか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございます。

10 日程第4 議案第3号 令和8年度教職員の人事異動について

教育長 次に、日程第4、議案第3号 令和8年度教職員の人事異動について。事務局から説明する前に、私から人事異動に係る伝達ということで資料を用意いたしました。こちらを先に説明をさせていただきます。

(資料を説明)

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 令和8年度教職員の人事異動について、委員の皆様からご質問、ご意見等承りたいと思います。佐藤委員。

佐藤委員 希望の里学園の学級編成について。複式学級等どのようになりますか。

(資料を確認することとする)

佐藤委員 これまでは、複式でも、(授業を)単式でやっていたと思いますが、ことしもそうした学校長の判断で、単式でやれるようにするのでしょうか。

教育長 単式ができるくらいの先生方の人数は確保できていますので、単式で授業をやれるようになると思います。ただ、標準法の下でやっていくと、単式2、複式2という形に人数が少ないので、ならざるを得ない状況です。

他にいかがでしょう。高橋委員。

高橋(世)委員 8ページの飯舘村人事異動内示の中で、認定こども園の教諭ですけれども、新採用1名とあとは退職1名、そしてふかや風の子広場保育所教諭というのは、ちょっと分からないのですけれども、どういう内容でしょうか。

教育長 まずは、いいたて希望の里学園の人事異動で議論を進めたいのですが、よろしいですか。こども園については役場の人事異動ということで、また後ほど説明はいたしますので、まずはいいたて希望の里学園についてのご意見ご質問はどうでしょう。

また、事務局でクラスの単式と複式がどの学年になるのか、調べていただくとありがたいです。

いいたて希望の里学園の前期課程では、支援学級が2クラス、知的と情緒があり、そして1年生から6年生までの教室があるとすると、8人の先生方がいなければならないのですが、7人ですので、先生方の定数は7ということになっていて、ただし主幹教諭、教員が6人配置されておりますので、先生は、複式で1人の先生を担当としますが、授業をやるときにはそれぞれ工夫をしながら、単式の学年で授業ができるようにされるとと思います。今までどおりという形になります。

あとは、後期課程においても、1人非常勤講師が配置になりました。臨時的任用教諭であればクラスを持つこと、担任することができたのですが、非常勤講師のために学級担任ができないという状況が生まれました。次年度は、学年主任をしつつクラス担任もしてもらおうという状況が生まれるということです。そのところは教育委員にもご承知おきいただきたく思います。今までは、学年主任と担任は別々に配置できましたが、非常勤が入ったことによって、それがかなわなくなってしまうという状況が生まれています。

高橋(世)委員 非常勤講師の、3ページの、主幹教諭のマネジメント機能強化というのはどういうものでしょうか。

教育長 これは新たなポジションで、今回教頭先生が新たに国立からいらっしゃいますが、国立と県教委の学校とは全く別物なのです。国立の先生、国立と県立の学校では文書が全く違うものが配付されるということで、教頭先生が非常に忙しくなる、慣れない仕事になるということで、主幹教諭が教頭先生のことも見なければならぬし、教育課程のほうも見ていかなければならないということで、そのサポートをするのに非常勤講師が入るといった形になります。

高橋（世）委員 週、何回など勤務条件は。

教育長 週3日の、1日6時間です。

あとは、今回教頭先生がご退職されますが、（業務が）すごく大変だというお話を聞いて、やはり働き方改革とかそういう波が押し寄せている中で、できるだけサポートができるように、1人の先生に過重な労働が行われないようにというような県教委の配慮もあり、1人、非常勤ですけれども、配置しようという話になっています。

ほかに。どうでしょう。

指導主事 （資料を持参し）前期課程の学級編制ですが、1年単式、2・3複式、4・5複式、6年単式、という形です。

教育長 ありがとうございます。では、教職員の人事異動について。このほか、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

（なし）

では、承認ということでよろしいでしょうか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございました。

#### 11 日程第5、議案第4号 令和8年度学校教育指導の重点（案）について

教育長 先日の総合教育会議の中でもお話しさせていただいて、いろいろな宿題を頂きました。それで、ちょっと簡単に整理をいたしました。

学校教育グランドデザインということで、この間資料を提出、提案させていただきまして、教育大綱に関して、学校教育と社会教育両輪でというお話もいただき、整理をしたところです。この資料に関しては、あくまでも学校教育グランドデザインとして捉えていただきたいと思います。

教育委員会が目指す教育大綱、子供から大人までに関する教育と考えたときにはまた別のまとめ方、くくり方をしていかなければならないと思いますが、その中で、「学校教育グランドデザイン」としてご提案させていただくのが、この資料になりました。

内容をこの資料で説明させていただきますが、まず、村の教育目標は第7次総合振興計画中の教育部門で「学びと文化で未来を拓く」という文言があります。これが村全体の教育目標と捉えるべきだと思います。その中で、村全体で教育に関わるというか、学びというふうなことで考えていったときのスローガンとして「いきいき学び、きらきら輝く」というスローガンを提案したいと思っています。「竹のようにしなやかにすくすくと」ということが、前回7年度までは教育目標の中に載っていましたが、それは学校教育にのみ特化する文言か

と。ここで整理させていただいたのは、「学びと文化で未来を拓く」というのが教育目標があって、スローガンとして「いきいき学びきらきら輝く」、この「いきいき学びきらきら輝く」のは子供だけではなくて、子供から大人までいきいきと学んでいく、そして自分のよさに気づき、そしてさらに輝いていくというようなことをイメージして、スローガンとしてここに掲げさせていただいています。「竹のようにしなやかにすくすくと」というここに掲げていたものは、このような形で教育目標として整理させていただきたいと思っています。

またA4判に戻りますが、スローガンが「いきいき学び、きらきら輝く」、これはもう社会教育であろうが学校教育であろうが共通のスローガンとしてこれから掲げていきたいと思っています。「美しく清らかな村 いいたて」の実現に向け、一人一人の良さ（光）を見つけ、生涯にわたり学ぶ喜びを味わいながら、光輝き未来を生き抜く教育を根幹としていきたいと。

その中で、今度学校教育の目標はどんなものかという「その子にしかないその子の光を見つけ より輝かせる教育」これが学校の教育目標という形になり、次に目指す子供の姿として「輝く瞳、はじける笑顔、明日を拓くいいたてっ子」、そういう子供を目指していきたいと。

輝く瞳とは何かといったときに、目標に向かい夢中になって物事に取り組んでいるときの姿をイメージしたい。はじける笑顔とは、目標達成のときに見せる姿と、目標達成に至らず失敗したときでも課題解決に立ち向かった過程での成就感にあふれ、自己有用感に満ちたときの姿。明日を拓くとは、立ちほだかる課題に、持っているもの（力）を駆使して乗り越えていく力を身につけていく、その過程は失敗や成功の繰り返しであり、結果としてたくましく成長し、変化が激しく正解のない時代でも生き抜いていくことができる、そんな子供を育成していきたいということです。

これを、教育大綱は村長作成・提案するものですので、これを見せて、村長の意向伺いました。村長の願いとしては「いきいき学び、きらきら輝く」もそうだし、目指す子供の姿の「輝く瞳、はじける笑顔、明日を拓くいいたてっ子」もそのとおりで、結局個を大事にし過ぎるのではないかと。個を大事にするのはいいけれども、これからはやはりコミュニケーション能力を育成して、強いつながり、喜びというものを味わわせることが大事なのではないかと言われ、考えましたが、この重点目標の中の2つ目に、「までいな心で、自分も相手も大切にでき、共に生きる人間の育成」という文言があります。前は、までいな心で自分も相手も大切にできる人間の育成でしたが、「共に生きる」という言葉をここに掲げさせていただいて、村長の思いを具現化したらどうかというところで、提案をさせていただきたいなと思っています。

裏面ですが、村の教育目標があって、スローガンがあって、どういうふうな教育をしていったらいいのかという根幹を示して、これ宿題でもありまだ出来上がっていませんが、社会教育、青少年教育・青年教育・高齢者教育・家庭教育、諸々があってその中の幼児教育・学校教育というのが。目標は、学びと文化で未来を拓く全体の目標があって、社会教育と幼児教育・学校教育の共通するスローガンとして「いきいき学び、きらきら輝く」というふうなことを

掲げながら、こんな意識で社会教育はこうあって、幼児教育・学校教育は、学校教育のグランドデザインがこれですが、社会教育のあるべき姿というのを、まだ宿題ですが、そんなイメージでつくれたらどうかと思っているところがございます。いかがでしょうか。

高橋（世）委員 私今、これを聞いていて、文言が乱立、数多く出てきていて、少し混乱しているのですが。何かイメージがうまくつかめない。以前の「竹のようにしなやかに」という、イメージがまだ抜け切れません。「竹のようにしなやかに」というのはイメージがつかみ易かったのですが。また、村長の言う村の住民にとっての「わくわく」という言葉も出てきていたので、その辺の整理について、きらきら輝くと、わくわくというのと、どうなのかなという、まだイメージとしてつかない状況です。

教育長 （以前提案した）孤高の星よりはいいと、村長・副村長も言っていたので、これで進めてはどうかと思っています。

高橋（世）委員 孤高の星は、校歌にもあるし、私はいいなと思う。どこも使っていませんし、気品があっているのではと。

教育長 孤高の星のようにきらきら輝く。以前は「までいに光をともし、孤高の星」と考えましたが、賛同を得られませんでした。孤高の星も、今回の「きらきら輝く」という中に含ませることができるのではといいますか、広く使えるかと。

高橋（世）委員 「わくわく」は。

教育長 もう使っていません。第7次総合計画でも一切ありません。

「までいにやる」とか、「までいな心」とか、これはどんどん使ってくださいと言われました。

高橋（世）委員 それはまたいい言葉、文言。私は孤高の星はいいと思った。誰が見てもイメージしやすいような文言がいいと思う。

教育長 （「いいですか」の声あり）お願いします。

教育長職務代理者 村長の願いにあります、個を大事にし過ぎているというのは、どのような内容だったのでしょうか。

教育長 個を大事にすることは全然悪いことではないけれども、これからは個を大事にしつつ、人のつながり、横のつながりとかそういったものを、コミュニケーションが取れる人間をやっぱり育成していかなきゃならないだろうというようなお話でした。

「孤高の星」という言葉を使わないけれども、きらきら輝くというのは孤高の星イコールだと思います。いかがでしょうか。

高橋（世）委員 孤高の星ときらきらは違うように思います。

教育長 （「校歌がすごくいいので」の声あり）もちろん、すばらしい校歌だと思います。いきいき学ぶはどうですか。

高橋（世）委員 どうも、いきいきというと高齢者を思い出します。

教育長 学校教育目標は、その子にしかない、その子の光を見つけ、より輝かせる教育。光を意識しているというところで、孤高の星につながっていくのですが。

「孤高の星」が難しいと言われたので、では、「孤高の星」という言葉でないなら何だろうと考えました。

高橋（世）委員 難しいので、孤高の星とは何かを説明しながらやるしかない。最初から難しいから使わなくていいということではないと思いますが。

教育長 「きらきら輝く」では不足でしょうか。学校教育の目標とすれば、竹のようにしなやかに、すくすくと伸びていく。でも、それは社会教育には向かないと思っています。社会教育も学校教育も網羅した言葉、文言は何だろうと考えたときに、ここにたどり着いたのですが。

高橋（世）委員 これは非常に時間のかかる議題です。いろいろな意見がそれぞれありますから。

教育長 前教育長の資料では、村の教育目標が「よりよい未来を自分たちの力でつくり出せる子供の育成」と。村の教育目標が子供の育成に特化していました。

ですが今の時代は、学び続けるということがすごく大事ではと思って、いきいきと学びという言葉に。「いきいき飯舘、いい出会い」の飯舘村のいきいきが、ずっと私も頭の中に残っていて、いきいきを使わせてもらったのですが。

高橋（世）委員 竹というものを想像しやすくイメージのし易さがあつたと思います。誰でも聞いても竹ってそうだという、根を張ってという部分なども。言葉だけが乱立しているわけではなく、大人でも子供でも竹をイメージできて、その竹のようにしなやかに根を張ってという部分が。

教育長 多分それは震災後、仮設住宅や、仮設校舎で生活をしてきた子供たちへの想い、その状況の中で生まれた言葉だつたと思うのです。

高橋（世）委員 今も続いていると思うのですが。

教育長 状況がまた違ってきていると考えています。

高橋（世）委員 震災のときだからではないと思うのですが。

教育長 今、大切なのは生涯にわたって自ら学び続ける姿勢、社会の変化に柔軟に対応して、新しい時代を主体的にたくましく生きる、心身ともに健やかな人間の育成、そういうことが今求められているのかと。本当に正解がない時代です。本当にいろいろなことが目まぐるしく変わっていく。それでも柔軟に我々は生きていかなければならない。そのためには学びを続けていかなければならない。学び続けていくこと、そして最終的には孤高の星になるとイメージしています。

高橋（世）委員 それが教育長のお考え、カラーだと思えます。でもイメージがしづらい。

教育課長 考え方として、今教育長おっしゃったように、組み立てとしてはここに書いてあるとおりで、非常によく考えられていると私は思いますし、必要なことはおそらくそのとおりだと思っています。要点がイメージがなかなかしにくいということだとしますと、例えば、一旦、今の竹のようにという物に例えたときにどうなるんだろうというところに視点を置くとして、「きらきら輝く」はまさに星、孤高の星だと思う、「星のようにきらきら」とすれば出てくる言葉だと思えます。（「具体的にね」の声あり）具体的に。では、いきいきは、の場合はうまく言葉がでませんが、「楽しくいきいきと」なのでしょうか。つらくてはなかなか「いきいき」とはならないと思うので。

高橋（世）委員 佐藤さんならどう思いますか、保護者として。

佐藤委員 教育目標ですよ。これが村の、

教育長 村の教育目標は「学びと文化で未来を拓く」なのです。第7次総合振興計画の目標なのでもう決まっております。

教育課長 やはり、いきいき学ぶ人、子供って、目標や夢がやっぱり必要だと思いで。夢を持っていきいきと、という言葉になるのかと。

教育長職務代理者 課長の今の思いに付け足しになります。いきいきという意味には、今課長が言った目標を持ってとか、夢を持って、あとは楽しく学ぶとか、こういう様々なものが入っていますよ、ということでいきいきを使っていくという感じ。次のきらきらに関しては、やはり星であり、個人が輝いていくとか、わくわくしながら輝いていく、そういう意味を含めておけばいいような気もしますが。個人個人のそれぞれの思いが、どの形でも当てはまるように。裏側にというのでしょうか。

教育長 ありがとうございます。まさにそのとおりです。裏側に。だから、言いやすい言葉で、私もずっと「いきいき飯館、いい出会いの飯館村」というのをずっと言い続けてきましたが、言いやすい言葉がスローガンとしてはいいのかなと。笑顔にっこり、言葉はっきり、仕事きっちりという、リズム感がよく唱えています。そこに含まれるものはいっぱいある。目標を持たせたりとか、楽しく学んだりとか、わくわくしたりとかというのは裏側にすごく秘められる。簡単に、かつ文言として言いやすいもの、ということでスローガンというのはあったほうがいいのかと思い、リズム感も考え、提示させていただきました。夢を持っていきいき学ぶとか、わくわくしながらきらきら輝いていくとかという言葉は、そのときそのときで文言を付け足すことができる柔軟性があるかと思いますが。

高橋（世）委員 付け加えるというよりは、一発で分かるような文言だといい。裏側とか、後から付け足すというのはちょっと。

教育長 どうでしょう、案があれば、案を出していただければ。

高橋（世）委員 駄目ではありませんが、委員会での意見をさらに検討していただければ。先ほど職務代理者も言ったように、夢を持っていきいき学ぶとか、あとわくわくしながらきらきらとか、いろいろな意見出たわけですので、その辺をまとめていただいて。

教育長職務代理者 私が先ほど申し上げたのは、このいきいきにはこうした意味が入っていますよという感じで、またきらきらというのはどういうことなのと問われたときには、わくわくとか、こういう意味が入っていますよと、感じ方はそれぞれ個人で感じていただければいいのかと思うんです。

教育長 では、今回の意見をまとめて、また村当局にフィードバックするというので。今回はそのようなことをご承認いただけますか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございます。

教育課長 何らかの変更はお任せいただくような形にさせていただきたいと思いますが。

教育長 お任せいただくということでよろしいですか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございます。

12 日程第6、諸報告について

教育長 それでは、日程第6、諸報告について。

まず、1の主要な行事日程等について。

教育課長 (資料に基づき説明)

生涯学習課長 (資料に基づき説明)

教育長 ただいま教育課、そして生涯学習課より主要な行事日程等について報告がございました。委員の皆様からご質問、ご意見等ありますでしょうか(なし)。

それでは、続きまして、2の学園・園の行事状況について、事務局から説明をお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 ただいま教育課長より、学園・園の行事状況について説明がありました。委員の皆様からご質問、ご意見はありますでしょうか。佐藤委員。

佐藤委員 修学旅行はどちらに行く予定ですが。

教育課長 今回は東京方面に行きます。

(教育長より 学校から今後関西方面への修学旅行を検討したいとの意見もあり、今後の検討が必要になる可能性がある旨情報共有と補足をする)

ほかにはないでしょうか。

それでは、日程第6の諸報告について、承認ということでよろしいでしょうか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございました。

13 日程第7 その他

教育長 続いて、日程第7、その他ということで、1、2について合わせて事務局から説明をお願いいたします。

教育課長 (資料に基づき説明)

4月定例教育委員会を 令和8年4月23日(月)15時からとした

5月定例教育委員会を 令和8年5月26日(火)15時からとした

教育長 では、次に3、その他のその他、事務局から説明をお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 卒業生進路状況について、今事務局から説明がありました。ご質問等ございませんでしょうか。

全 員 なし。

教育長 ありがとうございます。

では、続いて、飯舘村職員人事異動内示について、よろしくをお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 これについて、質問等ございませんでしょうか。

高橋(世)委員 ふかや風の子広場保育教諭というのはどのような業務でしょうか。

教育課長 ふかや風の子広場の業務が、この方が行くことによって変わるということはないものと思っております。従いまして、風の子広場において、あの広場の施設を利用されるお子さんたちを、今と同様に対応する仕事、また、施設と風の子広場の管理、そういう仕事になってくると思います。

高橋（世）委員 管轄は産業振興課ですか。（「はい」の声あり）

また、こども園の副園長は継続ですか。

教育課長 令和8年度は継続となります。

教育長、休議をお願いします。

（休議）

教育長 再開します。

飯館村人事異動内示に関して、ほかにご質問はないでしょうか。

高橋（世）委員 その他で、質問が2つほどあります。

1つは、質問といたしますか、状況を聞きたいのですが、今福島市で開催の大ゴッホ展について、5月10日までですから、公用バスを出すなどして鑑賞に行くような計画はないのかということ。またそうしたことを今後考えていってほしいなという思いがあります。

もう一つは、以前は中学3年生、今でいう9年生に、コース料理を食べさせる事業もありました。テーブルマナーや村の産業を学ぶ、卒業を祝うなどの目的があったと思いますが、復活したらどうかという思いがあります。

また、全国放送でも話題になった、いわき市教育委員会の給食2,100食廃棄した問題。報道では市長と教育委員会との意見の相違があったと受け止めていますが、万が一の場合に教育委員会と村長との連携というのは大変大切だと思いますが。そういう場合は、教育長としてはどう決断するのか。

さらに、献立のチェックは村の場合はどうしているのかを質問します。

以上です。

教育長 ありがとうございます。

まず、福島市のゴッホ展について。文化的な授業、文化に触れさせる、博物館もない、美術館もないといっている、ないないじゃなくて、どうしたら子供たちに文化に関わらせることができるかと考えたときに、とてもいいご意見だなと思いました。現状はどうですか。

庄司委員 福島市の学校に通わせている保護者からの情報ですが、5・6年生対象で福島市の全部の小学校で、美術館が定休日のときに、何か持ち回りで見に行けるというのがあり、便宜を図っているそうです。

高橋（世）委員 私もちょうどあの辺に行ったときに、市内の学校のバス4台が行っていましたから。そういう、文化的な、本物に触れる機会は、必要だと思います。

教育課長 校外学習の一環で取り組むとなったとき、準備対応ができるかどうかということがありますね。その展示会はいつ頃開催が決まったのでしょうか。

教育長 福島市は前々から、地元なのでこういう補助は出ているかもしれません。

確かに、村でもこれこそ70周年記念で予算をつけて行ってもらいたいなというところでもありますが。本当にいい提案だと思います。

高橋（世）委員 コース料理は、合宿通学の中で70周年記念とうたっていますので、そ

ここに組み入れるというのもよいと思います。

教育長 村は給食センターが業者委託になったので、前は学校給食センターというか村管理の中で、地元の調理員さんが協力してくださったので、メニューを柔軟に工夫できたのが、やっぱり委託になってからはちょっと厳しいかと。

高橋（世）委員 給食センターだけじゃなくて、きこりなど、そういうことは難しいでしょうか。きこりには料理人やスタッフがいますので。外食というか。

教育課長 修学旅行の行事の一環として、取り入れるところもありますね。

教育長 コース料理、とてもよい考えと思います。きこりとタイアップしてなんていうのは本当に。

教育長職務代理者 今年度予定の海外研修のEツアーではそうした内容はないのでしょうか。

生涯学習課長 Eツアーでは、コース料理の内容はなく、ホテルやレストランでの料理でフォークとナイフを使っていました。ホームステイでの料理も箸は使っていないと思います。

高橋（世）委員 合宿通学を70周年記念とうたっているのです、そこに組み入れて、きこりの料理を吟味してもらうことを併せてやってもらう。

教育課長 プログラムの組み立ての際に検討します。

教育長 文化に親しむ取り組みも今後検討させていただきたいと思います。

次に、給食の件です。個人の考えというよりも、やはりみんなの意見を聞き入れながら、最終決断を下すというような形になると思います。

さらに献立のチェックは必要だと思います。

高橋（世）委員 今回の場合、おそらく何人もが目を通して思うのです。気づけば献立を前の日にするとかできたのではないかと思います。

教育長 委員が言ったように、メニューを考える人たちも、震災に対する考えというのがもしかしたら薄れてきてしまっているというのもあったかもしれません。多くの目を通してしまっても気づかなかったわけですから。

教育課長 （村の給食の献立は）学校給食室ですので、栄養教諭がお考えになって、校長先生なり、学校側でチェックをするという形です。（「こども園は目を通しています」の声あり）

教育長 話し合いをしていかなければならないのかもしれないかもしれませんね。いろいろな気づきをさせていただいた質問、ありがとうございました。

ほかにないでしょうか。

全 員 なし。

14 閉 会

午後5時00分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育長

高橋 澄子

教育委員（教育長職務代理者）

高橋 祐一

教育委員

庄司 智美

教育委員

高橋 世津子

教育委員

佐藤 修治

書記：教育課長